

令和4年度 第3回松本市自殺予防対策推進協議会 要旨

1 実施日

令和4年10月21日（金） 午後3時30分から4時30分まで

2 場所

松本市総合体育館 大会議室

3 出席者

協議会委員22名（2名代理出席、6名欠席）

事務局：健康づくり課、保健予防課

4 概要

(1) あいさつ

鷲塚会長

(2) 議事

（協議事項）第3期松本市自殺予防対策推進計画（案）について

(3) 連絡事項

令和4年度松本市自殺予防対策研修会について

5 議事における意見・提案

(1) いのちのきずな松本について

ア 専門相談員とはどのような職員か。支援のための連携はどのように行っているのか。また、ピアカウンセリングのように市民の中にもサポートできる人が増えていくことで、支援の層が厚くなると思う。

→【回答】専門相談員の職種・相談体制・庁内サポートチームについて説明

イ 自殺に関する相談は、夜間や休日に警察へ連絡が入ることもある。いのちのきずな松本の開設時間は平日の開庁時間であり、夜間・休日の対応や、相談者へのいのちのきずな松本の情報提供など、どのように考えるか。

→【回答】夜間・休日の相談窓口については、民間団体等が行う24時間の相談等を、市HPに掲載させていただいている。相談者への情報提供は、相談者の意向があれば、ぜひお願いしたい。

(2) 計画の目標値について

ア 県の計画の目標値がまだ示されていないが、松本市の目標値より低い値（13.0以下）が示された場合、それに合わせる予定があるか。

→【回答】国の大綱に合わせ、松本市の計画は、「13.0以下」にしたいと考えている。

(3) 基本施策：安心して暮らせる地域づくりについて

ア とても重要と感じているが、民生委員や町会長など町会役員の担い手不足も課題になっている。行政として対応を検討してほしい。

→【回答】この場ではお答えできないが、課題として、担当課と検討していきたい。

イ 県営・市営住宅が集中し、町会世帯数の6～7割を占める地区もある。県営・市営住宅に、一人暮らしの高齢者などが集中することは、町会運営や見守りなどの問題にもつながる。住宅行政の問題もあると思う。

ウ 民生委員は、3年任期で一斉改選となるが、後任者が充足されているという話は聞いておらず、担い手不足は、今後より大きな課題となると思う。

エ 担い手不足については、本計画に、新たな対策を盛り込むことはできないと思うが、第4期計画を策定する頃には、もっと深刻になっていると考えられ、今後も検討課題になるだろう。

(4) 妊産婦とその家族への支援について

ア 妊産婦や子育て世代への支援を考えたときに、夫などの家族への支援が薄いように感じる。育休を取得しやすくしたり、残業せず帰宅できる会社の体制など、父親支援の視点を盛り込んだらどうか。

→【回答】意見を反映できるよう、検討したい。

イ 母親だけの支援というのは、学会等でも問題視されてきており、父親支援も含めた文言を検討していただけるといい。

(5) 子どもへの支援について

ア とても若い保護者が多くいる中で、中学や特に高校で、“親になること”や“子育て”に関する教育ができるといいと思う。また、学校の空き教室などを利用した居場所づくりができると、学校と地域のつながりにもなり、双方にとってメリットがあると思う。そのような取組みを後押ししていただけるとよい。

→【回答】健康増進総合計画には、親子の健康支援の中に、プレコンセプションケアの推進（未成年を対象とした将来に向けた健康な身体づくりを意識できる働きかけや、将来の妊娠・出産を見据えた教育）を盛り込む予定。

イ 精神保健福祉士として学校に行く機会があるが、教員が、生徒について、何に悩んでいるかわからないなど接し方や対応に苦慮され、疲弊している様子もある。教員への支援の必要性を感じる。また、長野県の「こどもの自殺危機対応チーム」の一員として活動することもあるが、県・市町村・学校の連携がまだ進んでいない状況がある。まずチームの存在を知ってもらい、チームだけでなく地域全体で支えていくような体制づくりを、一緒に進めていただきたい。

ウ 高校生や教員への教育・啓発について、教員が多忙で疲弊している現状も踏まえ、実施可能な方法として県の教育委員会の方で検討していただくよう、県の会議においても発言していきたい。合わせて、市からも申し入れしていただきたい。

6 今後の予定

令和4年12月を目安に、第3期自殺予防対策推進計画を含む健康増進総合計画（案）を協議会委員に送付予定。

以上